

年間行事予定

6月3日(土)	認定NPO法人びわこ豊穰の郷 第14回 通常総会
8月3日(木)	赤野井湾探検会
8月20日(日)	水辺の楽校 夏編
11月4日(土)	守山の水辺百選講座
定例会議・作業	運営委員会 毎月第3木曜 14:00~ 事務局会議 運営委員会開催週の月曜日 19:30~
	環境保全学習 毎月第1木曜 19:30~ 環境情報発信 毎月第1木曜 10:30~ 目田川モデル河川作業 毎月第3土曜 4月~9月 8:30~ 10月~3月 9:00~
	定例水質調査 田植え・代かき時、 5月、8月、11月、2月

認定NPO法人びわこ豊穰の郷
第14回通常総会

下記の通り開催いたします。
万障繰り合わせの上、ご参加をお願いします。

記

日時 6月3日(土)
時間 午後2時~4時
場所 火まつり交流館(勝部)

総会終了後、同じ会場で懇親会を予定
しています。
合わせて、みなさんのご出席をお待ち
しています!

参加料:2,000円(弁当代)

2017(第14回) 守山ほたるパーク&ウォーク
開催日時:5月20日(土)~5月28日(日)

初夏を迎えホタルが守山市内を飛び交う季節がやってきました。5月15日より約1か月間、市内各地で飛翔調査も始まります。また、パーク&ウォーク期間中には、たくさんの方が市街地での守山のほたる観賞を楽しんでくださいます。当NPO法人は、環境と観光の両面から守山市を盛り立てようと、実行委員会事務局として守山ほたるパーク&ウォークを運営しています。多くのボランティアの皆さんに支えられ、楽しく活動中ですが、まだまだスタッフが不足しています。少しでも興味のある方は、是非事務局までご一報ください。お問い合わせ:583-8686(認定NPO法人びわこ豊穰の郷)



しじみのひとりごと

床柱の謎

至福の願いが家の中に構築されるのは、床の間の造りである。四ツ間の家には大黒柱と仏間が取り入れられると、至福の願いも此処に宿ることになった。床柱には丸柱の下方を一尺三寸くらいのところまで削って、筍(たけ)を表現していた。正月の飾りに松竹梅を用意する。新松は正しい成長を、梅は先ず前に花を付ける寿ぎの木、竹は一年の成長を寿ぐものであった。家の発展を祈願して、敷地内に、とりわけ仏間への上がり口の庭に植えるようになったが、竹だけは繁殖力が旺盛の故に床柱にこれを象徴としたものである。近年、仏間の横の物入れを無くして違い棚を付けるようになると、角柱を用いるようになった。本来、角柱は四方柱のものを用意したものである。大木を四つ切りにしたものであった。価格の張るものであるから、本来大店の書院に用いられていた。床の間の機能が忘却されてくると、昭和四十年頃から床柱の筍もなくなった。 T.H



ほらじょうのさと
豊穰の郷だより

2017年5月15日 発行 部数1500部

発行 認定NPO法人びわこ豊穰の郷
理事長 金崎いよ子
住所 守山市勝部五丁目10番地25号
TEL 077-583-8686(有線 583-8686)
FAX 077-558-5007
E-mail houjiyounosato@lake-biwa.net
URL http://www.lake-biwa.net/akanoi/

水辺の楽校 春編

早春の水辺で春をさがそう!



3月25日(土)9時に春の水辺の楽校が始まりました。親子40余名が目田川の大自然の中で環境学習を実施しました。

まずは水辺の掃除を行ない、ごみを分けマイクロプラスチックのお話を聞き、琵琶湖の魚にも影響がある事を教わりました。自然観察では春の野草さがしビンゴで、はじめて見るもの手にするものばかり。

また、ものづくり体験では弥生時代の火おこしを親子が体験しました。一生懸命に取り組んで、煙は出るのですが、炎が上がるまではいかず、次回のお楽しみとなりました。紙芝居の「ホッティーものがたり」でホタルのことを少し勉強したあとは、今年も多くの飛翔が見られることを願って幼虫放流を行ないました。

子どもたちは、夏の水辺の楽校にも是非参加したいと、楽しみにしています。

水辺探訪講座（全5回シリーズ）開催します！

2017年度、新しい講座を開講します。全5回のシリーズで、今年度のテーマは「水辺を巡るエコツーリズム」です。受講料は、お一人6,000円で定員は20名（先着順）です。「水を学び、水と遊ぶ」この新しい講座に、お友だち、ご家族と、是非ご参加ください！

申込締切 6月30日(金)
 申込/お問い合わせ【びわこ豊穡の郷 077-583-8686】

※受講料を添えて、お申込みください。
 ※欠席はされた場合の返金はありません。
 ※それぞれの回で発生した、食事代、入場料などは受講料に含まれません。

日時 (予定)	タイトル	内容	備考
第1回 7月9日 (日)	水めぐるまち針江を訪ねる (先進地研修を利用)	高島市針江から学ぶ暮らし方とその理念	バスを利用した1日コース（別途昼食代）
第2回 (9月)	赤野井湾を知ろう	琵琶湖赤の井湾の歴史と現状を学ぶ	船で湾にでる半日コース
第3回 (10月)	琵琶湖博物館で学ぶ琵琶湖と生き物、暮らしの歴史と現状	館内の見学と、館内でワークショップを行います。	博物館の学芸員から話を聞き、ワークショップを行う半日コース（別途入場料）
第4回 11月4日 (土)	守山の水源を訪ねる	ダムからの水を守山までたどり、水がどのようにして私たちのところを流れているのかを知る	バスを利用した1日コース。水を知る活動をしている人々と交流（別途昼食代）
第5回 (2月)	ホタルのまち守山を流れる水について学ぶ 「環境用水ってなに」	前滋賀県立大学教授の秋山道雄先生の講義で、水をめぐる最前線の政策や動向を勉強する	5回目は最終回であり、講義終了後は修了式と環境ワークショップ、懇親会を行う。（別途食事代）

目田川生きもの図鑑完成！

昨年度より取り組んできました、「目田川生き物図鑑・魚類編」が完成しました。これは2016年度「守山市民提案型まちづくり事業」の助成を受けて作成したもので、前年度作成の「水生生物編」に続き2作目となります。監修には龍谷大学非常勤講師の上西 実さんをはじめ、琵琶湖博物館学芸員 出口武洋さんほか、多くの専門家のご協力で、すばらしい出来栄となっております。

今後は当NPO法人の環境学習や研修の資料として、活用するほかにも、希望があれば、近隣の保育園、幼稚園、小学校への提供も考えています。



資料写真撮影中の上西先生

水辺のひとこま

～あなたの投稿写真～

エメラルドプール（タイ・クラビ）

流れ込む川が温泉になっていて一年中暖かい、天然のプールです。天然の滑り台もあり水遊びの大好きなうちの子たちは大喜びでした。
 K.Sさん（泉町在住）



豊穡の郷だよりでご紹介するあなたの撮った自慢の「水辺の写真」をお寄せください！風景、人物（動物）、植物など水辺の写真なら何でもOK！

写真のタイトル・撮影場所・住所（町名）・お名前（ニックネーム・ペンネームでも構いません）を添えて、写真サイズ：1MB～5MBでお願いします。

投稿方法はメール（添付ファイル）またはCDにてお願いします。（USBは使用できません）皆さまからのご応募をお待ちしています！

掲載された方には素敵なポストカードをプレゼント

大曲（おまがり）Vol.21

守山市内ではヘイケボタルが激減し、大曲町内のごく限定された場所（田んぼ）にしか生息していません。50年ほど前には市内一帯の水田にヘイケボタルが乱舞していました。しかし、今では極めて希少な存在となってしまったのです。

その希少なヘイケボタルが細々と生息し続けてきていると判明した平成26年から、生息水田をはじめとする生息環境の保全とヘイケボタルの飼育への取り組みの活動を始めてから3年が経過しようとしています。

この3年間の取り組みによって、ホタルの飛翔数は7倍ほどにも増加し、6月には、ホタル観察会を開催して、多くの方々に水田や水路を飛びかうホタルの光に心を寄せていただくことができました。さらには、卵から幼虫、幼虫から成虫へと1年間を通して懸命に生きるホタルの生態に直接触れていただく中で、地元住民のホタルへの理解と関心が大変高まりました。

守山といえばホタル。ホタルといえばゲンジボタル。守山市のホタル条例でもって手厚く保護されているのは源氏ボタルだけです。

私たちの取り組みがゲンジボタルと同様にヘイケボタルが復活する契機となれば幸いです。小さくとも逞しく生きる「田んぼの申し子ヘイケボタル」に対し、関係の皆様方のご理解とご支援をお願い申し上げます。



あまの町の町

ほたるサポーター募集中！

守山ほたるサポーターとは？

豊穡の郷は、守山市内の里中川でホタルが飛び交うふるさとを、守り育てる活動を、続けています。これを財政面で支援して頂ける方が「守山ほたるサポーター」です。

サポートの方法

サポートには2つの方法があります。

【賛助会員に登録】

賛助会員として年間3,000円で豊穡の郷をサポート。

【寄付で応援】

一口3,000円として、ご寄付を頂き、豊穡の郷を応援。

これらのご支援で、ホタルのこと、より良い水環境づくりを目指し、活動を続けることができます。皆さまのご支援をお待ちしています。

お問い合わせは豊穡の郷事務所
 077-583-8686 まで